

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

## FF14 備忘ログ(PATCH2.0) バトルクラス編



### 巴術士クエスト

## 巴術士ギルド 入門編

巴術士ギルド受付

ムリー : ご機嫌よう。ここは、巴術の発展を目指して調査、研究を行う「巴術士ギルド」の受付窓口です。

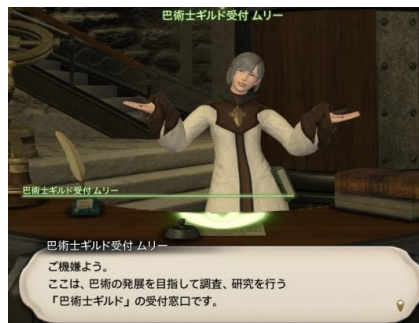
巴術とは、生命の神秘を解き明かした「魔紋」と呼ばれる幾何学紋様を用いて、己のエーテルを魔法的效果に変換する技術です。巴術を修める意思をお持ちならば、巴術士ギルドへの所属をお勧めします。ともに巴術の発展に尽力しませんか？

いいえ

フフ、賢明な判断です。知的好奇心の乏しい方に、深淵なる巴術の道を歩むことなど不可能ですから。

巴術士ギルド受付 はい

ムリー : フフ、そうおっしゃると予想しておりました。早速ですが、向学心旺盛な貴方に、「巴術士ギルド」の沿革を講読しましょう。巴術は、南洋諸島で発展した算術が起源です。かの地では、あらゆる自然現象を算術的に表現する研究が進められていました。その過程で、魔法に用いる魔法陣を、算術的に表した「魔紋」が編み出され、新たな魔法体系「巴術」が成立したのです。交易船でリムサ・ロミンサへ渡ってきた巴術士は、知識層として迎えられ、提督の相談役や法務に、携わるようになっていったのです。ですが、巴術士の育成は伝統的な師弟関係に依存し、「限られた者の魔法」であり続けました。これを憂慮されたのが、メルウィブ提督です。提督は、「巴術士ギルド」を設立され、巴術士に研究の場と資金を与え、後継の育成を積極的に取り組まれています。とはいえ、難解な巴術の学びは平坦ではありません。それでも「巴術士ギルド」への入門をご希望なら再度、私に申し出てください。



## 戦況を絡繰る巴術士

巴術士ギルド受付

ムリー： さあ、「巴術士ギルド」入門の決意が固まったのですね？

いいえ

どうやら、まだ決めかねているようですね。巴術を学ぶ決意が固まったならまた声をおかけください。

はい

英断でしたね。早速、ギルドマスターへ入門の意思を告げていただきたいのですが……

故あって、現在ギルドマスターは不在です。代わりにギルドの運営にあたっているギルドマスター代理「トゥビルゲイム」へお伝えください。

彼女は、我らギルドの母ともいえる頼もしい御方。そこの本棚の前にいらっしゃいますから声をおかけください。

トゥビルゲイム： ようこそ「巴術士ギルド」へ。ギルドマスター代理のトゥビルゲイムだ。巴術とギルドの歴史は、もう聞いたね？

説明の通り、巴術は生命の神秘に迫った魔法さ。**魔法生命体「カーバンクル」**を生み出し、使役する魔法なんかは、その象徴だね。

だが、巴術の肝ってのは、すべての命題に明確な解を求めることにある。これは戦いにおいても同じさ。

勝利という命題のために、戦術という解を求める。そんなわけで、巴術士には冷静に戦況を読み、瞬時に最適な魔法を選ぶ力が求められるんだ。

さて、お前さんは、こんな高度な頭脳戦を強いられる巴術の命題に取り組む覚悟はあるのかい？

いいえ

トゥビルゲイム： そうか、それはちょっと残念だね……。まァ、ヘタに入門して逃げ出すよりはマシか。巴術を学びたくなったら、またおいで。

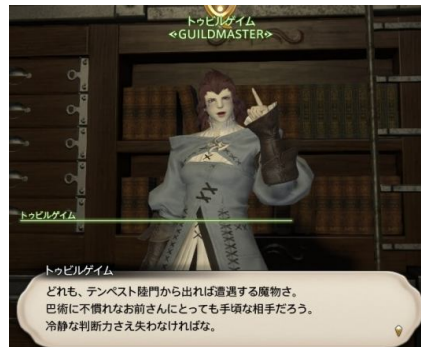
はい

トゥビルゲイム： 断言したね。ならば、まずはこの「ウェザードグリモア」を装備してあたしに見せておくれ。



## 魔道書と魔紋と

- トゥビルゲイム：うん、きまってるよ。それじゃ、お前さんの巴術に取り組む覚悟に偽りないことを証明してもらおうとしようかね。低地ラノシアを徘徊する「ラット」、「オーレリア」、「レディバグ」を3匹ずつ倒してみせておくれ。どれも、テンベスト陸門から出れば遭遇する魔物さ。巴術に不慣れなお前さんにとっても手頃な相手だろう。冷静な判断力さえ失わなければな。試練を達成した暁には、お前さんを正式に「巴術士ギルド」の一員として迎えるからね。がんばっておいで。
- トゥビルゲイム：おかえり、見事に成し遂げられたようだね？では改めて……ようこそ「巴術士ギルド」へ！今日は、巴術士◇◇◇の誕生日だ。さあ、都市を飛び出し、可能な限り「魔道書」をめくり続けろ。実戦こそ、座学に勝る学びだからね。カーバンクルの召喚に慣れてきたらあたしに鍛錬の成果を見せにきておくれ。ここで、お前さんの帰りを待っているよ。



## 現実を創出する魔紋

**トゥビルゲイム** : おかえり、◇◇◇。飯は、ちゃんと食べてるか？ 腹が減っては、とっさの判断も仕損じるよ？  
今回は、カーバンクルを扱う腕を確認させてもらおう。低地ラノシアで「ドードー」と「タイニー・マンドラゴラ」を3体ずつ巴術で倒してみせてくれ。  
相手の動きを冷静に分析し、最適な戦術を組み立て、カーバンクルを操るんだ。それじゃ、気をつけて行っておいで。

**トゥビルゲイム** : おかえり、◇◇◇。カーバンクルの扱いの基礎は押さえてるようだね。次は応用編としゃれこもうか。  
メルヴァン税関公社の荷物検査を体験してもらおうよ。ゼファール陸門のすぐ南の断崖に「訓練用の木箱」を用意した。  
これを調べたら、この「訓練用の木箱」を回収してあたしに届けておくれ。  
実際の検査では、妨害目的で魔物が積荷に紛れ込まされていることさえるんだ。  
そんな不測の事態も想定して、演習にあたってくれよ。

**ク・リヒヤ** : 心配ご無用ですっ！ 私のことなら、気にしないでいただけますか？ 今、いいところですので、しばしお待ちを。  
このような事態は日常茶飯事で、もとより想定済み。そんなことより、注目すべきは本日の嬉しい誤算！ それはキミ、◇◇◇です！  
キミの戦いを見ていたら、私の思考がはじけて新たな戦術が、次々と閃いちゃいまして……。  
想定される戦況の可能性を算出していたところ9785番目で、つまずいてしまった次第です。  
はいっ、これにて計算終了ですっ！  
大変お待たせいたしました。遅ればせながら、はじめまして。メルヴァン税関公社の主任検査官ク・リヒヤです。  
このたび、トゥビルゲイム代理からキミの試験監督、兼、指導員を拝命いたしました。これから、一緒に巴術を学んでいきましょうね。  
戦いぶりから推察するに、キミの巴術士としての腕前は、すでに申し分ありません。  
そこで、ひとつ、確認させてください。戦闘時の魔紋選択に関する戦術策定においてキミは何を最優先事項と考えますか？



**敵の裏をかくこと・遊び心・教えない**

**ク・リヒヤ** : うふふ。やはり私の仮説どおり。これで、解が得られました。キミが巴術士として大成する確率は……90%！  
なぜなら、キミと同じ答えをした巴術士を、私、他にたった1人しか知りませんから。  
それは、この魔道書を私に与えてくれた偉大なお方……巴術士ギルドのマスターです！  
ギルドマスターは、現在、行方は知れませんが常々こうおっしゃっていたものです。  
「戦術とは、望む現実を作るためにある」と。  
どんなに高い潜在能力を有していても鍛錬の戦術を誤れば、望む現実……。今の私たちなら「優秀な巴術士となる」ことはできません。  
そして、当面キミが採るべき戦術は、カーバンクルの扱いを集中的に鍛錬することです。  
カーバンクルを自在に扱えてこそその巴術士ですから！  
これにて、演習は終了です。キミは速やかにギルドへ帰還し、「トゥビルゲイム」に報告してください。  
え、私ですか？ 先ほど閃いた戦術を、実戦で試してから戻ります。それじゃ、ごきげんよう。また会いましょう。

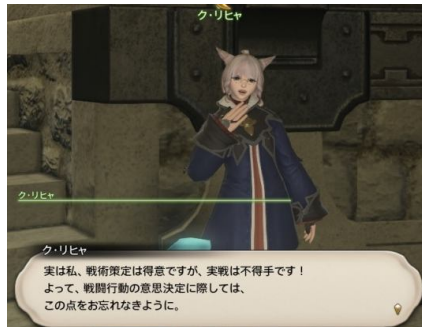
**トゥビルゲイム** : おかえり、◇◇◇。「訓練用の木箱」を見せてもらおうか  
うん、ちゃんと回収できてる。初めてにしちゃ出来だ。お前さんの訓練結果は、ク・リヒヤから報告を受けてるよ。  
あの娘、お前さんのことをいたく気に入ったようだね。  
あの娘は変わり者だが、戦術策定の巧みさはギルドいち。今後、あの娘から多くのことを学びとってほしい。  
巴術に対する真摯な姿勢は特にね。  
ク・リヒヤの「ボロボロの魔道書」を見たかい？ あの娘は巴術を始めて以来、あの魔道書ひとすじで  
税関公社の主任検査官にまで上り詰めちまったほどさ。  
まあ、巴術に没頭するあまり人として大事なものを見落としているんだけど……。そのあたりは、お前さんが補ってやっておくれ。  
さて、今日の話はここまでだ。ク・リヒヤの教えが腑に落ちた頃 また顔を見せにきておくれ。待ってるからね。

## 戦術策定の鍵

**トゥビルゲイム** : おかえり、◇◇◇。体調を崩したりしちゃいけないかい？ 健全な思考は健全な体に宿るってね。  
ク・リヒヤの教えに従い、どれだけ鍛錬したかその成果を、証明してもらおうとしようかね。  
西ラノシアで、「ローズリング」と「ジャッカル」を3匹ずつ倒してみせてくれ。ただし、やみくもに攻撃しても、通用しないよ。  
「パイオ」を併用する戦術を選べば、勝利という答えが近づくだろう。実戦で、効率的な戦術策定の勘所を掴んでおくれ。

**トゥビルゲイム** : おかえり、◇◇◇。強大な敵に打ち勝った気分は、どうだい？ ふふ、さらに過酷な試練も成し遂げられそうな勢いだね。  
じゃあ次は、より実戦に近い鍛錬をしてもらうよ。メルヴァン税関公社の主任検査官ク・リヒヤの荷物検査に立ち会おうんだ。  
巴術が、どう荷物検査に応用されているかしっかり学んでおいでよ。詳細は、階下にいるク・リヒヤから聞いてくれ。

**ク・リヒヤ** : お待ちしました。さっそく、本件に関する詳細説明に入りますね。調査対象は、ゴ布林族商隊「ボイルストクス一家」。  
この商隊は、御禁制品を扱っている疑いがあるのです。このため、検査開始時に攻撃を受ける可能性は60%……。  
戦闘状態への移行に備え、戦術は策定しましたが……。説明の前に、重要な前提条件をキミにお伝えしなければなりません。  
実は私、戦術策定は得意ですが、実戦は不得手です！ よって、戦闘行動の意思決定に際しては、この点をお忘れなきように。  
以上を踏まえ、戦闘状況が発生した場合、速やかに戦術パターン1345へ移行してください。通称……「集中砲火戦術」。  
カーバンクル・エメラルドとキミの火力を集中させて、一気に敵の氣勢を削ぎます。結果、我々が勝利する確率は95%。  
調査対象は、現在、中央ラノシアのクックポット付近で商談中とのこと。到着したら私に声をかけてください。では出発です。



**ク・リヒヤ** : 私はメルヴァン税関公社の主任検査官。これより、抜き打ちの荷物検査を開始します。

**ボイルストクス** : わなしたち、けんさ、だいっきらいね～ きらいは、やっつける～ね～！



**ク・リヒヤ** : 想定どおり、戦闘が発生しましたね。さあ◇◇◇さん！ 速やかに、「集中砲火戦術」の遂行をお願いします！

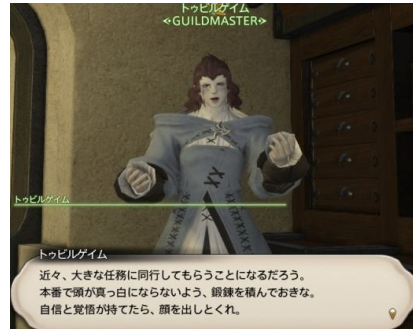
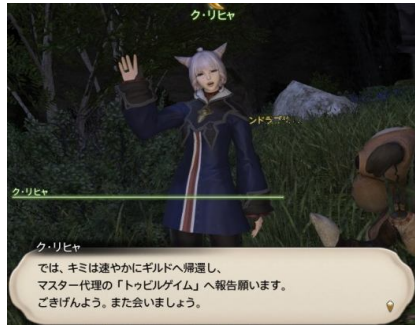
**先読のク・リヒヤ** : ◇◇◇さん「集中砲火戦術」を遂行してください！  
**先読のク・リヒヤ** : カーバンクル・エメラルドの最大火力で攻撃を！  
**先読のク・リヒヤ** : 私の前提条件もお忘れなきよう、戦闘行動を決定してくださいね！  
**先読のク・リヒヤ** : ◇◇◇さん、増援です！ 速やかに、戦術パターン2538「機動戦術」へ移行します！  
**先読のク・リヒヤ** : 爆弾投げの回避を、最優先に行動してください！  
**先読のク・リヒヤ** : 爆弾さえ回避すれば、優勢を維持できる確率は90%です！  
**先読のク・リヒヤ** : ◇◇◇さん、的確な意思決定です！  
**先読のク・リヒヤ** : キミの戦闘を見ていたら、新しい戦術がひらめきました！  
**先読のク・リヒヤ** : 私、これより戦術の検証に入ります。後は、お願いします！



ク・リヒヤ： お見事でした。キミの特性を生かした柔軟な戦術は敬愛するギルドマスターを見るようでした！  
任務遂行者の身体能力によって採るべき戦術が変化する好例ですね。  
つまり己の得手、不得手の見極めは戦術の策定における端緒にして要なのです。  
そこで、ひとつ、確認させてください。戦術遂行の成功率を高めるにあたり、キミが伸ばすべきは得手と不得手、どちらだと考えますか？

**得手・不得手**

ク・リヒヤ： うふふ、やっぱりマスターと同じ答えですね。キミが巴術士として大成する確率……97%。ますますキミから目が離せません。  
戦術策定は、技の有効性を正確に算出することが不可欠。己の能力を冷静に見つめ、実戦を積んで、  
味方の戦力、敵の特性との関連を体感してください。  
では、キミは速やかにギルドへ帰還し、マスター代理の「トゥビルゲイム」へ報告願います。  
ごきげんよう。また会いましょう。  
私は、イエロージャケットが商人の身柄を引き取りに来るまでここで戦術策定をしながら待機しています。



トゥビルゲイム： ご苦労さま、◇◇◇。ク・リヒヤから検査結果の報告は受けているよ。  
あの娘から、もう「己を知れ」と教わったそうだね？ 実は、これは中堅の巴術士向けの教えなのさ。  
この教えは、ある程度の実戦を経ないと真意と重要性を理解できないからね。  
近々、大きな任務に同行してもらうことになるだろう。本番で頭が真っ白にならないよう、鍛錬を積んでおきな。  
自信と覚悟が持てたら、顔を出しとくれ。

## 華麗なる懐柔戦術

トゥピルゲイム : おかえり、◇◇◇。睡眠はちゃんと取ってるかい？ 疲れた頭じゃ、とっさの判断を誤るよ。  
問題ないなら、階下の訓練場へむかっとくれ。税関公社の調査任務に、同行してほしいとク・リヒヤが、お前さんをご指名でね。  
ただし、それには条件があるらしい。急いで、階下のク・リヒヤから話を聞いとくれ。

ク・リヒヤ : 来てくれたんですね。これより、密輸の疑いがある商船に対して臨検を実施し、積荷をあらためます。  
本来、こうした調査はリムサ・ロミンサ領の港を利用するすべての商船に行われるのですが……  
密輸船の場合、調査を妨害してくる確率75%。そこで、キミに同行を依頼したいのです。  
ただし、今回の作戦では、キミがまだ身につけていないカーバンクル・トパーズの召喚が不可欠です。  
同行してくれるなら、伝授の許可を出します。

いいえ

ク・リヒヤ : すると、新たな召喚獣「カーバンクル・トパーズ」の召喚方法を伝授することはできませんが……  
もう一度、考え直してもらえませんか？

はい

ク・リヒヤ : ありがとうございます！ トパーズの神秘を解き明かした魔紋から生じるカーバンクルは、守護の技に長けます。  
この召喚獣を活用すれば、過酷な戦闘においても、被害を最小限に抑えることができます。危険な臨検では必須の存在なのです。  
では、トゥピルゲイム代理から伝授を受けてください。私も戦術の最終調整を終え次第、合流します。

トゥピルゲイム : 伝授の許可を取り付けたんだね。これより授けるカーバンクル・トパーズは、いわば仲間を守る盾。  
こいつを駆使して、ク・リヒヤの臨検をしっかり助けてやってくれ。



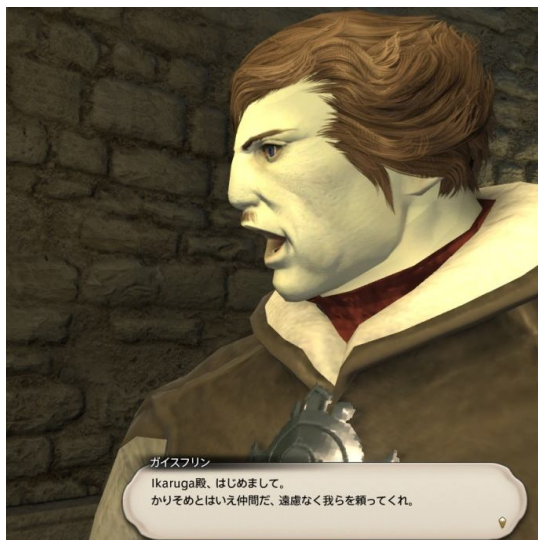
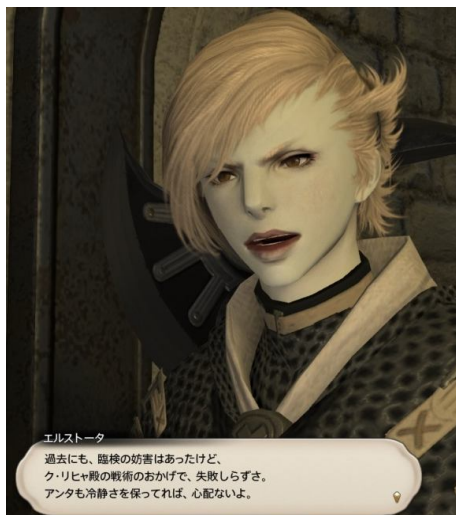
## 無残なる懐柔戦術

ク・リヒヤ : 今回の臨検に同行してくれる傭兵のガイスフリンと、エルストータも到着されました。

トゥビルゲイム : 二人は、これまでもク・リヒヤの臨検にたびたび同行してくださっている方々だ。

ガイスフリン : ◇◇殿、はじめまして。かりそめとはいえ仲間だ、遠慮なく我らを頼ってくれ。

エルストータ : 過去にも、臨検の妨害はあったけど、ク・リヒヤ殿の戦術のおかげで、失敗しらずさ。アンタも冷静さを保てれば、心配ないよ。



ク・リヒヤ : 調査対象の商船「モーニングスター号」は「エールポート」に入港予定です。まずは、商船に乗り込むことが第一目的ですが……商船側が金で雇ったゴロツキを差し向け、棧橋で我らを襲撃してくる確率は98%。船上での妨害は密輸船と公言するようなものですから。今回のように少数で多勢を相手取る場合、攻撃を集中させ、確実に頭数を減らす戦術が有効です。これを「各個撃破戦術」といいます。覚えていますか？ 戦術は、望む現実を作るためにあるのです。それでは、「エールポート」の前で合流しましょう。

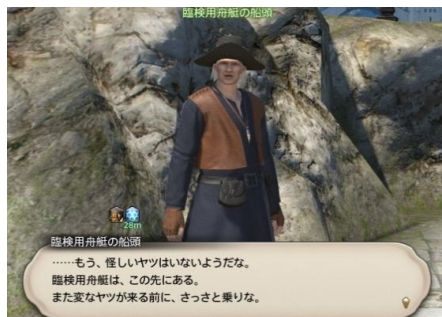
ガイスフリン : ク・リヒヤ殿は、我らに任せておけ。

エルストータ : 臨検用舟艇までの道は、アンタが拓くんだよ！

ク・リヒヤ : これより、作戦行動を開始します。キミは、埠頭にいる「臨検用舟艇の船頭」に、我々臨検部隊の到着を教えてください。戦闘が発生した場合は「各個撃破戦術」です。戦術は、望む現実を作るためにある…… これをお忘れなきよう。

臨検用舟艇の船頭 : 臨検部隊の人だね。むむ、なんだ、やばそうなのが向かってくるぞ！

臨検用舟艇の船頭 : ……もう、怪しいヤツはいないようだな。臨検用舟艇は、この先にある。また変なヤツが来る前に、さっさと乗りな。



ク・リヒヤ : お見事です。決断速度、選択の正確さ…… ギルドマスターを見るようでした。  
おかげで、私の計算より早く臨検に入れそうです。目標の商船モーニングスター号には、この舟艇で接近して、船内へ踏み込みます。  
……見てください、件の商船のお出ましです。早速、出発しましょう。  
商船に到達したとしても、やけになった水夫が反撃してくる可能性は……85%。  
しかし、私たちの目的は戦闘ではなく積荷がある船倉への到達。ゆえに、この場合は「強行突破戦術」が有効です。  
反撃は、御禁制品を海に投げ捨てるための時間稼ぎ。その猶予を与えぬため、全力で敵を蹴散らし、短時間で制圧、船倉に向かいます。  
危険は百も承知ですが…… キミがいるからこそ、採用できる戦術です。頼みましたよ。  
メルヴァン税関公社の主任検査官ク・リヒヤです。これより、本商船「モーニングスター号」の臨検を実施いたします！

ーニングスター号の航海長 : あいにく、今日に限って船倉の扉が壊れちゃってね。どうにも開かぬえときたもんだ。  
悪いが、検査は日を改めちゃもらえぬえかな？

ク・リヒヤ : 却下です！ リムサ・ロミンサ領の港を使用するすべての船舶は、臨検を受ける義務を有します。

ーニングスター号の航海長 : そういうことなら、お役人は全員、誤って海へ転落して「事故死」してもらうしかねえなあ！



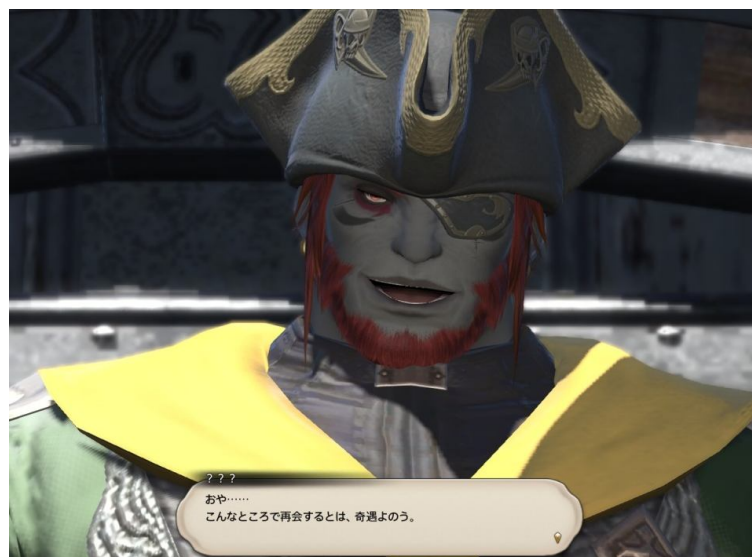
先読のク・リヒヤ : 敵陣の状況を確認！ 皆さん、「強行突破戦術」へ移行します！  
先読のク・リヒヤ : ◇◇◇は、カーバンクル・トパーズを召喚してください！  
先読のク・リヒヤ : 敵の攻撃をカーバンクルに引きつけ、敵陣に突破口を作り出します！  
先読のク・リヒヤ : ◇◇◇！ カーバンクルでガイスフリンへの攻撃を受け止めてください！  
先読のク・リヒヤ : カーバンクルには、癒し手を最優先で守らせてください！  
先読のク・リヒヤ : 注意すべきは、斧術のオーバーパワー！ カーバンクルで、仲間を守ってください！

ク・リヒヤ : ◇◇◇、お見事です！ これより臨検を開始します！  
きゃっ！

??? : これはこれは。キャンキャンと、やかましいと思ったら……。  
アバズレ提督の飼犬が紛れ込んだか。飼犬主に似て、大層行儀が悪いのう。

ク・リヒヤ : お……おまえはっ……！？

??? : おや…… こんなところで再会するとは、奇遇よのう。



ク・リヒヤ : ど……どうしてココにいるの……！？ 追放されたはずじゃ……？

エルストータ : おい、大丈夫か？ しっかりしろ。

ク・リヒヤ : いやっ！ 私に触らないで！！



エルストータ : おい、落ち着け！ どうしちゃったんだ！？

??? : ああ、実に耳障りな遠吠えよ。品行下劣は、相変わらずかっ。ならば、「しつけ」が必要だのう！！  
昔よりも、さらにキツイやつをな！

ク・リヒヤ : いや————！！

ガイスフリン : ク・リヒヤ殿が失神しちゃった！ 臨検続行は不可能だ！

エルストータ : いったん退くぞ！ ク・リヒヤ殿は我らに任せろ。お主なら、自力でギルドへ帰れるな？

??? : フン、帰ってアバズレ提督の靴でも舐めていろ！ ハハハハッ！

エルストータ : 無事だったか。ク・リヒヤ殿は我らに任せろ。アンタは、いったん巴術士ギルドに戻り、トゥビルゲイムに帰還の報告をするがいい。

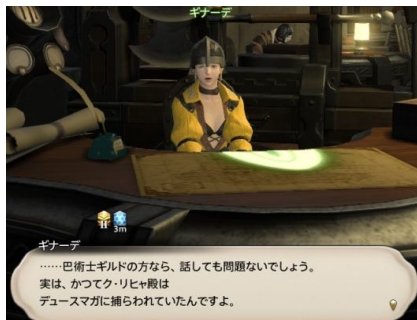
トゥビルゲイム : おお、戻ったか。ガイスフリンから、失敗の報告は受けている。全員、命があったのは不幸中の幸いだ。  
まさか、密輸船の船長が大海賊「デュースマガ」だったとは…… この海都を追放された身で、よくもぬけぬけとっ！  
その上、またしてもク・リヒヤを傷つけるとはっ！ 事前に分かっていたれば、あの娘を派遣するなんて残酷なマネしなかったのに……  
ク・リヒヤは、当分、動けないだろう。あの娘とデュースマガには、深い因縁があつてね……。  
あたしらも、あの娘の心の傷には手が出せない。心配だろうが、その気持ちは、鍛錬にぶつけることだね。  
冷静になれば、また様子を見にきておくれ。





## 一途なる挟撃戦術

- トゥビルゲイム**：おかえり、◇◇◇。悩みがあれば、いつでもあたしを頼っておくれよ。  
いざって時に頼られないってのは堪えるからね。  
……実は、今朝からク・リヒヤの姿が見えない。今までも姿を消したことはあったが、すぐ見つかったんだ。  
今日に限っては、どこにもいなくてね……。  
こんな時に、ギルドマスターがいれば、あの娘の居場所ぐらい容易にはじきだしただろうに……。  
どうしてこう、巴術に身を捧げる者はすぐに姿を消してしまうのかねえ……。まあ、とにかく手分けしてク・リヒヤを探そう。  
お前さんは、国際街商通りで情報を集めてくれ。あの娘が消えた時は、大抵あそこにいるからね。
- ドウドウザン**：ミコッテ族の税関公社の役人を見なかったかって？ その検査官なら……イエロージャケットに捕まったよ。  
検査官に、エールポートを拠点とするキルン族の密輸団の話であれこれ聞かれてたんだが警備兵がきて、連行されていったんだ。  
その後のことは…… 「コーラルタワー」の「ギナーデ」に聞けば、何か分かるかもしれないな。



- ギナーデ**：税関公社のク・リヒヤ殿ですか……。 ええ、確かに、ご足労いただきました。  
デュースマガ帰還に関する事情聴取のためです。  
……巴術士ギルドの方なら、話しても問題ないでしょう。実は、かつてク・リヒヤ殿はデュースマガに捕らわれていたんですよ。  
デュースマガという男は、悪名高き海賊でしてね。**6年前に悪質な御禁制品の闇取引が発覚して**、リムサ・ロミンサを追放されたのです。  
奴は狡猾で用心深いため、尻尾をつかめずにいまして、ク・リヒヤ殿に情報提供を依頼したわけです。  
ところが、こっちが逆に質問攻めにされて、捜査情報を引き出されてしまいました。その後は……ギルドへ戻られたはずですよ。
- トゥビルゲイム**：ク・リヒヤは、まだ戻ってないよ。なに、あの娘とデュースマガの関係を聞いたって？  
……お前さんには、きちんと話しておくべきだね。  
**6年前……デュースマガが追放されたのは抜き打ちの臨検で奴隷売買が発覚したからだった。**  
公社の監督官が踏み込んだ商船の不潔な船倉には、数十もの人々が詰め込まれていてね…… その中に……ク・リヒヤもいたんだ。  
おびえて口もきけなかったあの娘が立ち直ったのは、ギルドマスターが魔道書を手渡したからだった。  
それが、あの娘が使っていた例の魔道書だ。  
魔道書……？ ……そういえば、ク・リヒヤの魔道書は海に捨てられたそうだね？  
臨検逃れのために海へ捨てられた御禁制品を拾い集めて売りさばくキルン族の闇商人が  
エールポートにいる、という噂を聞いたことがあるが……  
その中に、捨てられた魔道書が紛れていると期待してるのかもしれない。……エールポートで、あの娘を探してくれ。
- アルザ・ガミルザ**：ここは不正な密輸に手を染めた商人や、商戦を襲った海賊たちの留置所だ。身柄の引き渡しには、お上の許可が必要だぞ。



- ク・リヒヤ**：えーっと、パターン256は…… よしっ、これで奪還作戦は完成よ……！  
はっ◇◇◇さん、来てくれたんですね。今からキミに連絡を取ろうとしていたところです。  
漂着した御禁制品を売りさばく闇商人が私の魔道書らしき品を取り扱っていたと、このキルン族の囚人が証言してくれました。  
商隊を襲撃して、魔道書を取り戻したいと思います。公式な臨検では、積荷は没収と定められているため  
魔道書も取り戻せないものですから。  
商隊は、すでにキャンドルキープ埠頭へ出航しました。私が今から、協力者を招集します。キミの力も貸してください！  
トゥビルゲイム代理にも協力を依頼しますので、キミは、闇商人が通過するはずの「オシュオン大橋」にて、代理と合流してください。

トゥビルゲイム : 来たね、これで準備はすべて整った。闇商人が大橋に到達次第、ク・リヒヤの合流を待たずに、魔道書奪還作戦を決行するよ。  
向こう岸の小屋に潜んでる協力者2名と挟み撃ちにするってのが、今回の作戦だ。この「挟撃戦術」を考えたのは、もちろんク・リヒヤさ。  
目標の闇商人は、用心深い性格でね。目立たぬよう少人数で行動しながらも、  
ひそかに護衛に尾行させているそうだ。援軍に注意しな。  
でも、イエロージャケットの加勢はないからね。この戦いは、正規の臨検じゃない、いわば私闘さ。  
見て見ぬふりをしてもらうことで、手打ちにしてある。  
だけど、安心しな。ク・リヒヤが策定した戦術は完璧さ。こっちの戦力だけでも、十分に勝ち目はある。  
……さあ、そこで闇商人の到着を待てな。

キキルン商人 : きよきよ、曲者っちゃ！ おまえら、やっちまえっちゃ！  
平明のトゥビルゲイム : あんたらが、闇商売してるのはお見通しさ。商品は、残らず渡してもらうよ！  
平明のトゥビルゲイム : ガイスフリン、エルストータ、出ておいで！  
キキルン商人 : きよきよ、こしゃくっちゃ！ 傭兵、やれやれっちゃ！  
平明のトゥビルゲイム : ク・リヒヤの想定どおり、幻術士が加勢したね。皆、パターン158へ移行するよ！  
平明のトゥビルゲイム : ◇◇◇、敵に「ミアズマ」を！ 回復を妨害してやりなっ！  
夕風のガイスフリン : すまん、なんとか乗り切ってくれ……。  
朝風のエルストータ : 役に立てなくて、ごめんよ……。  
キキルン商人 : ぶんぶんっ、商談におくれるっちゃ！ いっきにかたづけろっちゃ！  
平明のトゥビルゲイム : 呪術士だって！？ どうやら敵も必死のようだね。皆、パターン256へ移行するよ！  
平明のトゥビルゲイム : 呪術士がいるだけで、全滅の可能性がはねあがる。呪術士を集中攻撃して、真っ先に片付けな！  
平明のトゥビルゲイム : あらかた片付いたようだね。ク・リヒヤの魔道書を探してくれ！

ク・リヒヤ : 皆さん…… 私の魔道書は見つかりましたか……？

トゥビルゲイム : ◇◇◇ お前さんから、渡してやってくれ。今、取り戻した、あの娘の魔道書を……。

ク・リヒヤ : ひどい……魔道書がボロボロ…… これじゃもう使い物にならない……。  
私が、魔道書を復元する方法を思いつく確率は……0%。いかに優れた戦術も、起きた結果の前では無力……  
私、これにて帰ります…… なんだか、疲れちゃいました……。



ガイスフリン : やめておけ！

エルストータ : どうしてっ！？

トゥビルゲイム : あたしからも、お願いしたい。今は、そっとしてやってください。  
後始末は、頼みます。さあ◇◇◇、ギルドへ帰ろう。

ガイスフリン : 後のことは任せておけ。この襲撃がバレぬよう、対処しておく。

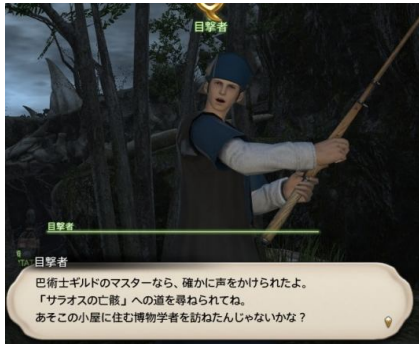
エルストータ : ク・リヒヤ殿のこと、頼んだよ。

トゥビルゲイム : 戻ったか。濡れてボロボロの魔道書を見た瞬間…… あの娘の目が……死んでしまった。  
ク・リヒヤを助けなくちゃ。お前さんにも、力を貸してほしい。その時まで、腕を磨いておいてくれ。

## 洒脱なる陽動戦術

**トゥピルゲーム** : おかえり、◇◇◇。ク・リヒヤの様子は……相変わらずだ。生きる意欲を失い、息する人形みたいになってる。6年前のように、マスターがあの子を助けてくれたら…… そう思っていたところ、ギルドマスターの目撃情報が入った。今から行っても、もういないかもしれない。会えたとしても、人嫌いの彼が話を聞くかわからない。それでも今は、やるしかない。高地ラノシア「メメルン交易商店」へ向かい、目撃者と話して、ギルドマスター「ク・リド・ティア」の手がかりを探してみてくれ。

**目撃者** : 巴術士ギルドのマスターなら、確かに声をかけられたよ。「サラオスの亡骸」への道を探ねられてね。あそこの小屋に住む博物学者を訪ねたんじゃないかな？



**タンガ・トンガ** : 巴術士ギルドのマスターと名乗る男なら確かに来たよ。少々、奇妙な人柄ではあったが、実に博識な人物だったな。そうそう、彼は自分を探しに来た者がいたら、「三通の隠された書簡に、解へ至る命題を記した」と、伝えてほしいと、言っていたんだ。隠された書簡は、「サラオスの亡骸」周辺にあるそうだよ。ひとまず探してみてもどうかな？

**タンガ・トンガ** : 三通の「隠された書簡」は、見つかったか？  
ほう、本当に書簡を隠していたのか。しかも古代アラグ文字で記すとは、芸が細かい…… どれ、読み説いてあげよう……。

**紙片の内容** : 「愚か者の滝」で、箱を探せ。  
「古ぼけた木箱」に、「踊る」を披露せよ。  
「踊る」で喜んだ木箱を開けば、命題を得るだろう。

**タンガ・トンガ** : なんじゃこりや……箱に踊るとは、訳が分からん。もしかして、君はこの内容に従うつもりなのかい？  
それこそ、マスターに踊らされているだけなんじゃないか？

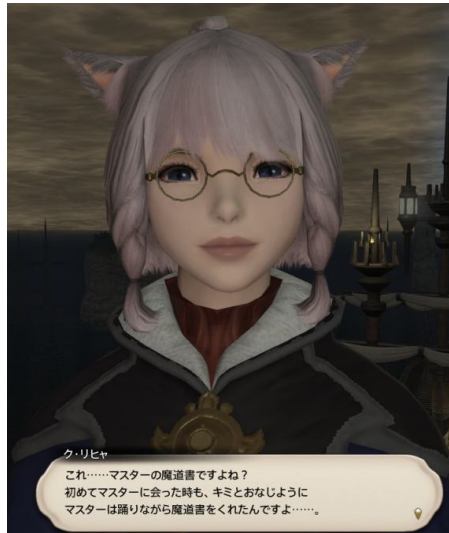
**紙片の内容** : 解を求めるならば、メメルン交易商店のメメルンに「踊り」心を開いてみせよ。

**メメルン** : ヘンデコ ミコツテ族 踊り うまうま！ アナタ 踊り うまうま？ 見せ見せっちゃ！

**ク・リド・ティア** : いやー、いい物見せてもらっちゃった。たまには里まで下りてくるもんだね。ただ、君の能力値なら、もう少し早くここへ到着する計算だったんだけどな…… さてはダンスに躊躇しちゃった～？  
君って存外、恥ずかしがり屋さんなんだね～？  
ツプフ。これは重要情報だから、しっかり記録しておくよ。僕の脳内にあるギルド員の考課表に、ね。  
君をここへ導くことぐらい、巴術士なら朝飯前でしょ？ 「戦術は望む現実を作るためにある」んだから、さ？  
つまり、君は僕の手のひらの上で「踊ってた」ってわけ。  
はい、これ、あ、げ、る。ここまでたどり着いた、君へのご褒美だよ。  
もちろんク・リヒヤに渡してもいいよ？ そのために君は、ここへ来たんだしね～？  
た、だ、し。ク・リヒヤに本を手渡す前には君の「踊り」を見せてあげてね、約束だよ～？  
ふあああ。久々に人としゃべったら、なんだか疲れちゃった…… さてと、僕はこの辺で、おいとまするよ。  
君は、リムサ・ロミンサの「アンカーヤード」に行つてね。それじゃあ、ごきげんよう。君と、また会う確率は……100%だよ。君が巴術をやめない限り、ね。



ク・リヒヤ : 頭の中には、いつも戦略が渦巻いていたのに今は、静寂そのものです……。もはやこれで、いいのです……。昔も、こうでしたから。その踊り……。もしや、ギルドマスターにお会いしましたか？  
名乗らなかったとは……。相変わらずです。キミが会ったのは、間違いなくギルドマスター……。こんなことを人にさせるの、マスターだけですから。  
でも……。なぜギルドマスターは、キミには会ってくれたんですか……。  
これ……。マスターの魔道書ですよね？ 初めてマスターに会った時も、キミとおなじようにマスターは踊りながら魔道書をくれたんですよ……。  
本当にありがとうございます……。これを手に入れるの大変でしたよね？ マスターは、いたずらが大好きだから……。マスターは「望む現実を作れ」と言っているんだと思います。マスターが魔道書をキミに託したように……。キミが、この魔道書を手に入れたように。だから……。  
私、デュースマガを倒します！  
そうと決めたら、戦術があふれ出してきました！ トゥビルゲーム代理にも、お伝えください。



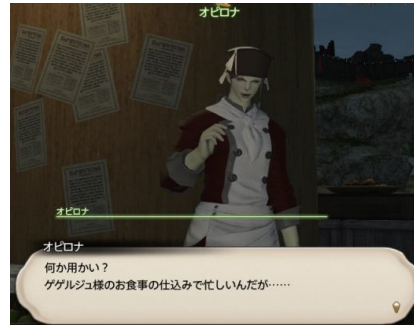
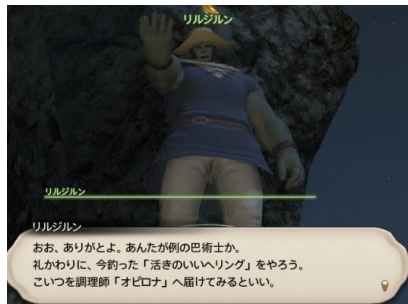
トゥビルゲーム : ……そうか、ク・リヒヤが立ち直ってくれたのか。よかった、お前さんのおかげだ、ありがとよ。  
それにしても……。相変わらずマスターもク・リヒヤも素直じゃないな、まったく……。  
まあ、あの娘を縛る枷は、まだ残っているってこった。  
お前さんと行動して、変わってくれるといいが……。お前さんも、ク・リヒヤのどんな戦術にも応えられるように鍛錬を積んどきなよ。



## 巴術最大級命題の証明

**トッピルゲーム** : おかえり、◇◇◇。ク・リヒヤの計算どおりのお出ましだね。決戦を控え、ク・リヒヤの頭は最高潮に冴えている。イエロージャケットから、デュースマガの商船が東ラノシアのブラッドショア沖合に停泊中との連絡が入った。その後、デュースマガは東方を目指す長い航海に出帆するつもりらしい。しばらくはリムサ・ロミンサへ戻らないだろう。この機を逃すと、ク・リヒヤがデュースマガを打倒する機会はなくなるってわけさ。失敗できないよ。デュースマガは狡猾で、近づくのも難しい。だが、ク・リヒヤは最高の戦術を策定して、すでに現地で作戦行動に入っている。まずは、急ぎ「コスタ・デル・ソル」に赴き、この紙を漁師「リルジレン」へ渡してくれ。その後の指示も、適宜届くはずだ。

**リルジレン** : なにか用ですか？ 釣りに集中したいのだが……  
おお、ありがとよ。あんたが例の巴術士か。礼かわりに、今釣った「活きのいいヘリング」をやろう。こいつを調理師「オピロナ」へ届けてみるといい。



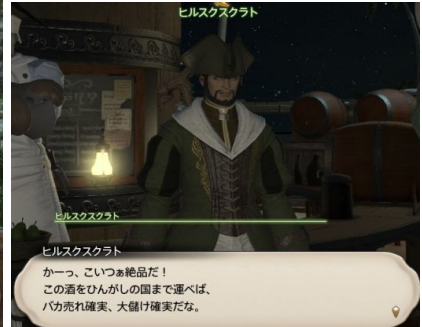
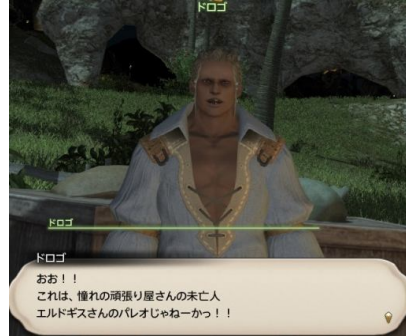
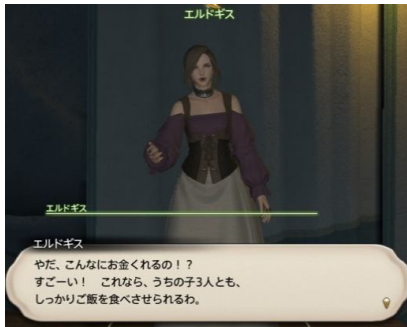
**オピロナ** : 何か用かい？ ゲゲルジュ様のお食事の仕込みで忙しいんだが……  
これは、活きのいい魚だ。こいつを調理すれば、ゲゲルジュ様もご機嫌さ。あたしの、給金もまたあがるね！  
お礼に、あたしが作った「特製のイールパイ」をあげよう。これを地主ゲゲルジュ様に届けるよう伝えてくれと、ミコッデ族の巴術士に言われたよ。

**ゲゲルジュ** : なんだ、貴様は？ うーむ、貴様のニオイ…… さては貴様、「特製のイールパイ」を所持しておるな？  
ワシの好物を調べてから、挨拶に来るとは、殊勝な心がけだの。よし、「硬貨の詰まった袋」を取らせるから、パイを……。



**ベ・エバロー** : お待ちを。ゲゲルジュ様にパイを届けた冒険者に、この紙を渡すよう、税関公社の検査官から依頼されました。

**紙片の内容** : ゲゲルジュから受け取ったものを仕事帰りの踊り子「エルドギス」へ渡す。 ク・リヒヤ



**エルドギス**： なんか用？ いくらくれるかで、相手する時間は変わるわよ？ 子供らが腹すかせて待ってるから、急いでるんだけど。  
やだ、こんなにお金くれるの！？ すごーい！ これなら、うちの子3人とも、しっかりご飯を食べさせられるわ。  
おいしい仕事を引き受けたもんね……。あっ、これはこっちの話よ。さあ、依頼人から指示された品を受け取って。  
ミコッテ族の依頼人から預かった袋と、私のパレオよ。このパレオを倉庫番「ドロゴ」に届けるように伝えろって言われてるわ。

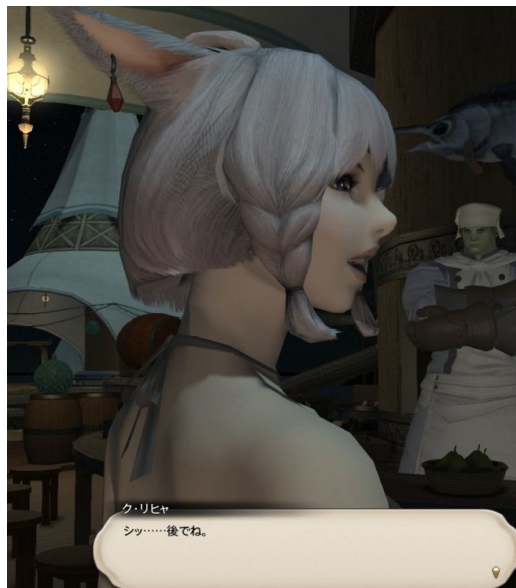
**ドロゴ**： わりい、あんたの相手してるヒマねーんだわ。早く仕事かたづけねえと、またボスに叱られるんだ。ん、何かくれるのか？  
おお！！ これは、憧れの頑張り屋さんの未亡人エルドギスさんのパレオじゃねーかっ！！  
ってことは、あんたに例のブツを渡せばいいんだな……。いや、俺が欲しい物を届けてきた奴に「秘蔵のワイン」を  
渡させて、見知らぬミコッテ族に頼まれてたんだ。  
んで、この酒をフライングシャークでたむろしてる船乗りどもに、味見させろってさ。やつら柄悪いから、気をつけろよ？

**ヒルスクスクラト**： お、酒ついでくれるって？ なら、味見してやろうじゃないか。  
かーっ、こいつぁ絶品だ！ この酒をひんがしの国まで運べば、バカ売れ確定、大儲け確定だな。  
なあ、あんたうちの商船「モーニングスター号」へ来ねえか？ お頭に、この酒を紹介してえんだ。

**いいえ**  
なに！？ てめえ、俺に逆らおうってのか！？ もう一度、よく考えてみろ。

**はい**  
よし、決まりだ。よお、ねえちゃん、お前も一緒に来い。お前が、今回仕入れた一番のお宝だからな。

**ク・リヒヤ**： シッ……後でね。



ク・リヒヤ : シッ……お静かに……。エルドギスから受けとった袋…… 後ほど渡してくださいね……。

ヒルススクラト : よく来たな。船の準備ができれば、出発だ。  
上等な酒に、上等な女…… お頭も、ご満悦にちがいない。

ク・リヒヤ : あ、あんまり見ないでください……。最小限の犠牲で商船に乗り込むにはこの戦術が最適だったんです。  
それより、エルドギスから受けとった袋を。要る物だけ取ったら、すぐキミに戻しますから。

ヒルススクラト : おい、おめえら。さっきから何コソコソしてやがる！？

ク・リヒヤ : 夜の海は、少々冷えるので。

ヒルススクラト : そういうことなら、しかたねえが……。  
その貧乏臭いローブ……お頭の前では脱ぐんだぞ。

ク・リヒヤ : はい、もちろん！  
言われずとも、自分から脱ぎ捨てます！

デュースマガ : アバズレ提督の飼い犬が！ 調教されに来やがったか！？

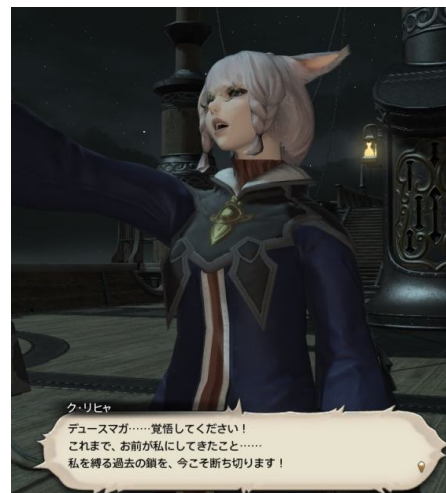
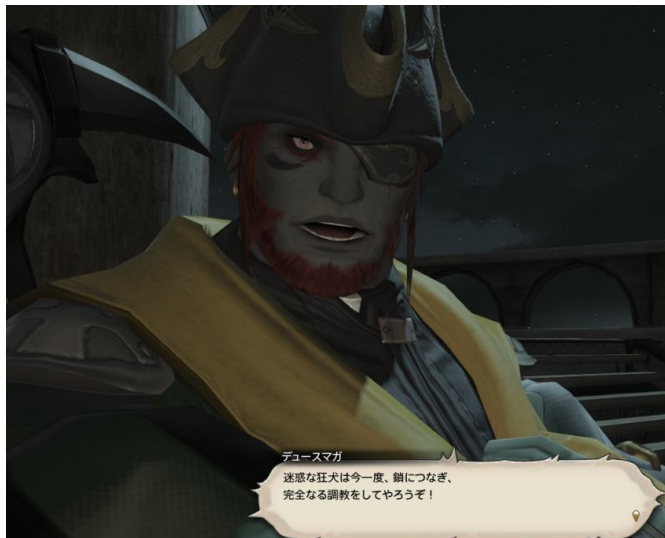
ク・リヒヤ : 答えは否！ 「戦術は、望む現実を作るためにある」この命題を証明しに来たのです！！

デュースマガ : 畜生に、夢や希望など存在せぬと思い知れ！ 身の程知らずな妄想ごと、クラゲの餌にしてやろうぞ！

先読のク・リヒヤ : ◇◇◇、この魔法陣を利用すれば、戦況を有利に導けます！

デュースマガ : ふがいない手下どもが！ しくじれば、全員、懲罰に処す！  
迷惑な狂犬よ！ 今一度、鎖につなぎ、完全なる調教をしてやろうぞ！

ク・リヒヤ : たったふたりでも、戦術次第で望む現実はずれます！  
デュースマガ……覚悟してください！ これまで、お前が私にしてきたこと…… 私を縛る過去の鎖を、今こそ断ち切ります！



デュースマガ : 迷惑な狂犬は今一度、鎖につなぎ、完全なる調教をしてやろうぞ！

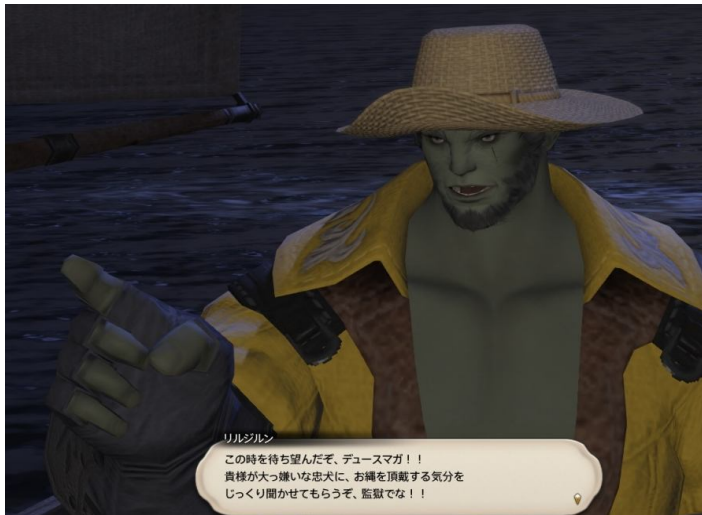
先読のク・リヒヤ : お前が酷使している手下じゃ、私たちを止められません！ 私たちが勝利する確率は、99%です！  
毒心のデュースマガ : ふん、所詮使い捨てのコマにすぎぬわ。犬畜生の戦略なぞ、わが斧で粉碎してやろうぞ！！

ク・リヒヤ : 敗北を悟ったデュースマガ、起立し、右舷前方へ逃走。  
海への脱出を試みる。

デュースマガ : はんっ、わしを踊らせたつもりか！？ 甘い、甘い、スキだらけよ！！  
このわしが、犬畜生の術中ごときに、はまるとでも思うたか！？

ク・リヒヤ : そこで、キミが手配したイエロージャケットを目視！

リルジルン : この時を待ち望んだぞ、デュースマガ！！ 貴様が犬嫌いな忠犬に、お縄を頂戴する気分をじっくり聞かせてもらおうぞ、監獄でな！！



**リルシルン**  
この時を待ち望んだぞ、デウスマガ！！  
貴様が大好きな忠犬に、お囀を頂戴する気分を  
じっくり聞かせてもらおうぞ、監獄でな！！

**ク・リヒヤ**： 以上、証明終わりです。  
ありがとうございます。キミなくして、成功しえない戦術でした。  
だから、私の戦術は、まだまだです。……当然ですよね？  
「戦術は、望む現実を作るためにある」なのに私は……本当に望む現実から目を背けていたんですから。  
私、ギルドマスターを探しに行きます！  
ギルドのトゥビルゲイムに伝えてください。今まで、お世話になりました、と！  
私の戦術は……これからが本番です！



**トゥビルゲイム**： お帰り、いろいろ聞きたいことがあるんだが…… まずは、ク・リヒヤが手配していた袋をあたしに託してもらえるか？  
まずは、ク・リヒヤが手配していた袋をあたしに託してもらえるか？  
持ち主から問い合わせが来ていてね。大切な商売道具らしいから、あたしから返しておくよ。  
ク・リヒヤの門出に、あたしも少しは貢献したいしね。  
それにしても……ク・リヒヤはやっと出帆したか。本当に自分が望む場所へ……。お前さんのおかげだ、ありがとう。  
ずっと心配だったのさ。あの娘は、巴術と戦術策定以外はニブくて自分の気持ちに気づかず、苦しそうにしてたからね。  
今後、あの娘が苦手としてた戦闘だって上達するだろう。なんせ、ギルドマスターの直接指導だからね。  
ふたりして、一層巴術に没頭するだろうさ……。  
これはひょっとすると、お前さん、巴術が大発展する歴史的一步を刻んだかもしれないよ。  
いつか、ふたりに再会した時、対等に渡り合えるよう、お前さんに新しい技を授けるとしよう。  
広範囲に様々な効果で、大幅に生命力を奪う術だ。



## 登場人物

トゥビルゲイム：ギルドマスター代理



ク・リヒヤ：メルヴァン税関公社の主任検査官



ク・リド・ティア：巴術士ギルドマスター



傭兵のガイスフリン、エルストータ



デュースマカ：密輸船海賊



ヒルスクスクラト：デュースマカの手下



ボイルストクス：ご禁制を扱うゴブリン隊商



タンガトンガ：博物学者



ドッドゥザン



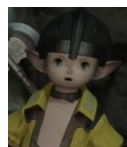
リルジレン：イエロージャケット



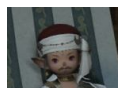
オビロナ



アルザ・ガミルザ：イエロージャケット



ゲゲルシュ



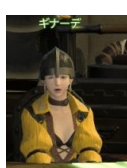
エルドギス



ムリー：巴術士受付



ギナーデ：イエロージャケット



ベ・エパロー



ドロゴ

